

# いきいき業者婦人



# いどばた

## 第41回総会 No.6

(発行) 静岡市駿河区泉町 7-12-8 松山ビル 2F  
Tel.054-283-8885 Fax.054-286-5263  
静岡商連婦人部協議会

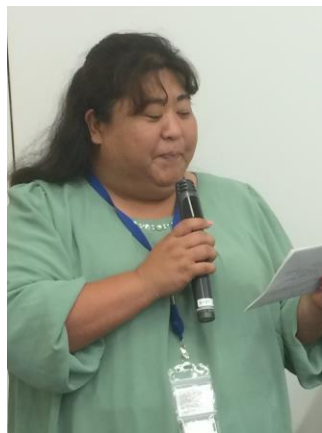
### 4・18全婦協 国会議員要請行動

4月18日、全婦協の国会議員要請行動が行われ、県内8民商婦人部と県連から14人が参加しました。川島文江県協会長と大石邦子副会長は、前日の全婦協第6回常任幹事会から参加されており、当日午前中に行われた財務省と内閣府男女共同参画局との懇談で全国の仲間と共に、国連女性差別撤廃委員会の日本政府への勧告をどう受け止めているかを追求し、56条廃止に向け政府としての取り組みを明確にするよう求めました。(詳細は5月9日付商工新聞4面)

省庁交渉に初めて参加した川島会長は、「財務省職員の『56条が人権問題だという認識はない。あくまでも記帳のあり方の問題』という発言にとてもガッカリしたと共に腹が立った。国連の勧告で一気に前進すると思っていたがそうではないのだと思い知らされた。いっそう学習して6月の全県一斉請願に取り組みたい」と決意と感想を語りました。



昼前から始まった院内集会には全国から100人以上が参加。全婦協会計の塚田豊子さんからジュネーブでの国連女性差別撤廃委員会を傍聴した様子が報告されました。そしてこの間の各地の取り組みでは川島会長も挙手して、「国連の政府への勧告を



受け、4月12日に婦人部担当事務局会議を開催した。女性事務局だけでなく男性事務局も積極的に参加してくれ、この流れに乗って全県で6月議会で働きかけようと意思統一した。2月の陳情書一斉提出では懇談した市議会議員が、議会で他の議員に私たちの訴えを一生懸命説明してくれたら、継続審議になっているところもある。やっぱり訪問し直接対話することが力になる。6月議会に向け力を合わせる。

せ頑張ります」と語り、元気な訴えに会場から拍手がおくられました。集会の最後に全国から集まった署名は23万人以上にのぼり、この日現在までに全国445自治体で「56条の廃止を求める意見書」が採択されていることが報告されました。

集会後は14人が5つのグループに分かれて、それぞれ3、4人の議員を訪問しました。

(以下、各グループからの報告よりまとめ)

静岡県選出と東海比例の衆参両議院19人を訪問するも、議員本人と会えたのは島津幸弘衆院議員(日本共産党)のみ。衆院4人、参院2人の議員事務所は秘書も不在で訪問すらできませんでした。

上川陽子衆院議員(自民)事務所は受付で訪問許可をし、その後すぐに訪問したにも関わらずチャイムを押しても物音はするが誰も出てこない。しばらく待っていたら議員本人と秘書が出てきたので話しかけたが「忙しいから話は聞けない」と歩き始めた。「たったいま受付から電話をしたではないか」と訴えるも無視して行ってしまおうという酷い対応だった。

その他、自民党議員、公明党議員、民進党議員ともに秘書が応対、「ハイハイ」という事務的な態度、「本人に伝えておきます」等の回答。持参した署名の

紹介議員をお願いするも、どこも「紹介議員になれるようなら連絡する」(4月末現在までに連絡は一切ありません)、「党規で署名を預かることは禁止されているので」との理由で預かってもらうことはできませんでした。



### 対応した秘書が「お話を聞いて長年抱いていた矛盾が解けた、56条の問題に納得した」と語る

各議員事務所では対話がなかなか進まない中、自民党のある女性秘書と非常に有意義な対話が出来ました。(ご本人の立場もあり議員名は控えます)

訪問直後に「所得税法第56条はご存知ですか」と聞くと、その女性秘書は「すみません、よく知らなくて」と応えました。要請文書を渡しながら「配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しない」という所得税法のそもそもの問題と、家族従業者はサラリーマンと同じように働いても人格も働き分も認められないことを説明し、そのうえで再び「どう思われますか」と聞いたところ、「全くおっしゃる通りだと思いました。私の家は子どものころ商売をしていて、母

も私も兄弟も手伝うのが当たり前でした。母も苦労したと思うし、私たちも手伝ったからと言ってお小遣いをもらえないということも無く、家族みんなが手伝うのが当たり前だと思っていた。でも大人になり働き始めて、同じように仕事をしても家の商売だと扱いが違うことに矛盾を感じていた。今のお話を聞いて『そういうことだったんだ』と納得しました」と語ってくれました。

さらに、「今でも20年近く働いていても、まだまだ日本は男性社会だと感じる。来客や電話に私が対応すれば『誰かいないのか』『他に分かる人に代わって』と当たり前のように言われてしまう。女性の地位はまだまだ低い、それどころか何年たっても変わらない。党の方針に背くことはできないが議員本人には私の気持ちも含めしっかり伝えます。今日はお話を聞いてとても勉強になりました。応援しているのでも頑張り続けてください」と語ってくれました。

諦めず訴えることで思いがけない展開が生まれること、理解の輪が広がること、これらを確信にこれからも頑張りようと思える出来事でした。



**国会議員要請行動の感想**

**伊東・佐藤美代子さん**

院内集会で全国の参加者から、議会の傍聴、区長との懇談、署名の集め方など、さまざまな行動の報告がありました。意見書採択にはあらゆる行動に取り組むことが大切だと改めて感じました。

**三島・小野寺勇子さん**

議員訪問ではいつもながら要請文書を事務的に受け取られる中、ひとりだけ自分の考えを主張した方がいて感激しました。島津議員の「地元に戻った時、スーパーで値引きシールが貼ってある魚を選んで買う」というお話に、こういう庶民的な感覚の国会議員は他にもいるだろうかと考えた。庶民はみんなこんな暮らし、庶民の目線で考える議員が増えてほしい。

**沼津・山本冨子さん**

全国から123人が参加した院内集会、熱気あふれる集会で素晴らしい。まだ何も分からずにいますが、これから少しでも自分にできることに取り組んでいきます。

**沼津・鷲見孝枝さん**

国会議員要請行動に参加したのは今回で3回目でしたが、議員本人は島津さん以外誰とも会えず残念だった。議員に直接、私たちの声、思いを届けたいです。

**富士宮・依田泰江さん**

所得税法第56条廃止への声をもっともっと高めて、地元に戻って頑張りたい。

**富士宮・中田ふさ江さん**

訪問した3議員とも本人が不在のため、署名を手渡すことができませんでした。

**清水・川島文江さん**

4議員訪問で2つの事務所が誰もおらず訪問できませんでした。秘書が対応したところも「ハイハイ、また来たか」という対応と、「先生は不在のため要請文書は預かります」の事務的な対応でも残念だった。

**静岡・深澤みどりさん**

せっかく川上議員の事務所を訪ねたのに、「会議の時間だから」と秘書の方と2人、すれ違うように行ってしまった。川上さんを引き留めて話したかったが聞いてもらえずとても残念、悔しいです。

**静岡・柳澤晶子さん**

院内集会は財務省の相変わらずの「検討します」との回答に、「やはりそうなんだ」と少々ガツカリしましたが、全国の婦人部が頑張っている様子を聞き、静岡も頑張らなくてはという気持ちになりました。川上議員がすれ違いのように行ってしまったのはとても残念でした。

**磐田・渡辺尚美さん**

議員要請で秘書が対応したところで「議員に資料は渡しておく」とは言ってくれても、事務的であまり対応が良いとは思えません。事務所内に議員本人がいるような事務所もあって居留守を使われているのかなとも思いました。議員本人に会って訴えるにはタイミングが大事だと思います。

**磐田・後藤加寿美さん**

議員本人が不在のため玄関で秘書対応になってしまい、本人に直接訴えることが大切だと思いました。今回は秘書の対応が悪くなかったので、持つて行った「許せますか？所得税法第56条」パンフレットをしっかり渡してくれることを期待しています。

**浜松・井口睦子さん**

財務省の回答「検討する」の一点張りという報告にガツカリしたが、この運動を所属の支部に持ち帰り56条廃止の早期実現にむけ引き続き活動したいと思えます。議員要請では川上議員の対応が残念でしたが、食堂の近くで福島みずほ参院議員(社民)に会い「共に頑張ろう」のメールが力になりました。

**浜松・大石邦子さん**

訪問した議員は全て留守で秘書の対応でしたが悪くはなかった。渡辺周衆院議員(民進)秘書は若い方でしたが「財務省で検討するとはつきり表明し、56条はもう廃止しかな

い」との訴えに「そうですね」と話していた。

**県連・瀬川るみ**

議員要請の準備をする中で、今回も議員との面談の約束を取り付けなかったことを反省しています。参加の皆さんが議員本人に訴えたいという気持ちを大事に、今後はもう少し余裕をもって準備を進めなければと思いました。自民党の女性秘書がこちらの訴えを聞き、自らの生い立ちと重ね合わせ共感してくれたことがとても嬉しかった。議員要請を何度も行っているがこうした経験は初めて。昼食後、食堂入口で福島みずほ参院議員(社民)にバッタリ会い、写真撮影と少しだけ話をしてくれました。とても気さくな方で「安保関連法廃止にむけ、共に頑張らしよう」と握手をしてくれました。注文した「焼きそば」が売切れでガツカリしている姿が庶民的で可愛らしかったです。

**56条署名は島津議員に託しました**



昨年10月の全国業者婦人決起集会以降、県連に届いた署名は1555人分、当日参加者が持参した三島沼津の分を合わせると2017人分となりました。5つのグループが行動を終え、最後は全員そろって島津議員のもとへ。大勢での訪問にも嫌な顔ひとつせず応接室に通してくれました。島津議員から消費税軽減税率の問題や戦争法廃止、熊本地震の被害や政府の対応についてなどたくさんのお話を聞き、東京と静岡の魚の味の違いなど楽しいお話もできました。署名は全て島津議員に託しました。



佐藤美代子さん、福島みずほ参院議員、小野寺勇子さん